

令和5年度第3回入学者選抜方法改善協議会会議録

日時 令和5年9月6日(水)
午前9時30分から正午まで
場所 教育委員会室

出席委員 土橋徹嘉委員、小林昭生委員、大井裕美子委員、神田貴裕委員、
松浦達也委員、田中啓委員、加藤哲也委員、秋谷美保委員、
菅崎俊幸委員、塩原克幸委員、田島慎吾委員、
黒田勇輝委員、阿部弘之委員、吉野勝美委員、守屋淑美委員

1 開会

2 委員長挨拶

3 協議

(1) 会議の公開・非公開について
公開とする。

(2) 会議録の署名委員
第3回は、大井委員と菅崎委員とする。

(3) 資料説明
事務局より

(4) 協議内容 (○委員長 ◇委員 ▲事務局)

○ 第1回ではたたき台について事務局より示してもらい、協議してもらった。第2回では保護者の方からも御意見を頂戴し、さらに委員の皆様と協議を深めていただき、協議会としての方向性を確認し、それに基づき、事務局に報告書の文案作成を依頼した。第3回では、協議した内容を教育長へ報告する報告書の文案を協議していただく。それでは、事務局より報告書の文案の説明をお願いします。

▲ 報告書案について御説明する。本協議会で検討した内容を踏まえ、入学者選抜方法改善協議会委員長から県教育委員会教育長に報告することとなる。本日は、この報告書案について、御協議をお願いしたい。報告書案の内容は、第1回、第2回会議で各委員からいただいた御意見を基に作成している。

○ 説明をしてもらったが、報告書案全体を通して、質問はあるか。

(特になし)

- それでは協議は項目ごとに絞りながら協議をしていく。まず1の選抜の特色化について、事務局から補足はあるか。
- ▲ ない
- 再度、内容をお目通しいただきたい。それでは、1の選抜の特色化について、質問や御意見を頂戴したい。
- ◇ 特色選抜を実施することができる、ということは、高校側で実施しない場合もあり得る、ということでしょうか。特色選抜を導入することができる、という認識でしょうか。
- ▲ 現段階では、この入試の制度の中に、特色選抜を導入する、ということを審議していただいている。全校でやるのか、実施を希望する学校でやることができるのかなどについては、今後、入試制度を設計していく中で、検討を進めていく。また、入学者選抜の中で、全員に対して特色選抜を実施し、その次に一般選抜を行うとか、特色選抜を希望した生徒に実施し、そのあとに一般選抜を行うとか、特色選抜をやらないこともまた1つの特色と考えられるとか、今後、入試制度を設計していく中で、検討を進めていく。
- ◇ それをまとめるとこの文言になるということか。
- ▲ そうである。
- 県の選抜の方式の中で特色選抜を導入し、どのような制度設計でしていくか、ということはこの後考えていきたいということである。
- ◇ 「特色選抜を実施することができる」「特色検査を実施することを可能とする」表現が違うことで、意味合いが違うととられないか。
- ◇ 特色検査は各学校の特色に応じて実技検査をやることができるのか。その場合2日間で収まるのか。
- 特色検査を実施しなくても、特色選抜は実施可能かと考えられる。例えば、理数科が理数科目の配点を高くするといった傾斜配点を行うことにより特色選抜として考えることもできるのではないか。
- ▲ 面接はマストと前回話し合っていたところだが、実技を行うのであれば、3日目も考えられる。面接は特色選抜のためではなく2の選抜方法の在り方についてに係るところの内容であり、特色選抜に特色検査としての要素を含んで面接を行う、なども考える。
- ◇ 特色選抜と特色検査という言葉は、あえて違っていたほうがよい、ということでしょうか。
- ▲ そうである。
- ◇ 「現行」「全員」などはもう少し説明するような形がいいのではないか。「アドミッションポリシー」についても、「入学者の受け入れに関する方針（いわ

- ゆるアドミッションポリシー)」など、もう少し説明が欲しい。
- ◇ 1の選抜の特色化についてといった表題は、新しい入試制度についてとした方が良くはないか。
 - 表題は協議会の協議題ともかかわってくるので、そのあたりとの整合性も必要である。
 - ◇ 面接をやることを特色化といわれると厳しい。新しい入試はこう変える、と言われた方が納得する。
 - 特色化とは別に面接を課す。特色化の中にあるわけではない。
 - ◇ それでは1は特色化のことについてだけにし、学力検査や面接のことなどは2に入れる方がいいのではないか。
 - ◇ 表題を変えるのは根本を覆すことになる。学力検査などを2に移す方が表題にあっていると思われる。
 - それでは、1は「特色選抜を実施する」ということに絞るということでよいか。
 - ◇ よい。
 - それでは、今、御意見いただいた修正した内容を改めて確認したい。事務局からの読み上げをお願いしたい。
 - ▲ (内容の読み上げ)
 - ◇ (賛同)
 - では、2の選抜方法の在り方について、1から文言を移す部分も含めて、事務局からの説明はいかがか。
 - ▲ 冒頭に「1回の入学者選抜とし、すべての受検生に学力検査を実施する。」を入れる。
 - ◇ 「及び面接」を入れなくても良いか。
 - ◇ ここで入れなくても良いのではないか。
 - 全体のバランスを見て、考えていきたい。
 - ◇ 3行目「必要な情報」が抽象的で、とらえ方によっては加点される、されないであったり、今まで、該当の情報は必要ではなかったのか、と誤解されるのではないか。
 - ◇ 中学時代という使い方で正しいのか。
 - ◇ 中学校在学中、などの方がいいのではないか。
 - ◇ 調査書の内容については別のものなので、自己評価資料、面接についての説明のあとに持ってきた方がよい。
 - ◇ 16次報告との整合性として、「受検生の学びに向かう力や意欲、多様な活動等を多面的・多角的な観点から評価するため」の方が良いのではないか。また、中学時代を「これまでの」という表現ではどうか。

- ◇ 自己評価資料に書かれた内容は評価しないということは、あくまでもそれを用いた面接を評価する、ということでしょうか。そうすると「(文章量や文章力等を含む)」が不要なのではないか。
- ◇ この言葉があることで箇条書きではなく文章にしなければならないといった誤解も与える。
- ◇ 面接を実施するために調査書の内容を精選するわけではないのではないかと。
- ◇ 16次報告によれば「より適切に評価する」ためにやっているのです、そういった文言の方がよいのではないかと。
- ◇ 「精選」だと、学習の記録以外に他に何を残すのか、というところが気になる。残すつもりがあるのならこのままでいいが、学習の記録だけとなると「精選」という言葉は適切ではないのではないかと。
- これまでの意見の中で「総合的な学習の時間」や「出欠席」の扱いについても出ていたので、今後、検討する必要もあると考えられることから、柔軟に考えられる可能性を残した方がよいのではないかと。
- ◇ 評価の観点とは、面接の評価か。
- ▲ そうである。
- それでは、今、御意見いただいた修正した内容を改めて確認したい。事務局からの読み上げをお願いしたい。
- ▲ (内容の読み上げ)
- ◇ (賛同)
- それでは、3の実施時期についての御意見等はいかがか。
- ◇ 現在の学年表記は消して「令和9年度入学者選抜」だけでいいのではないかと。次の行も「令和8年度入学者選抜」でよいと思う。
- 年度が変わると分かりにくくなるので、何年度入学者選抜だけでよいのではないかと。
- ◇ 文章の中に、少なくとも「調査書の」という文言がないとわからない。
- ◇ 項目を、「5. その他」などきちんと書いておくべきではないかと。
- ◇ 「入学者選抜制度」はここまでできていない。入学者選抜方法ではないかと。
- ◇ 表記の揺れを直した方がよい。
- それでは、今、御意見いただいた修正した内容を改めて確認したい。事務局からの読み上げをお願いしたい。
- ▲ (内容の読み上げ)
- ◇ (賛同)
- それでは、最後に4のその他についての御意見を頂戴したい。
- ◇ あまりにも抽象的な表現を用いているが、例えばマークシートやデジタル採点など具体的なものは入れられないのか。「配慮する」だけだとよく分から

ない。

- ◇ 配慮すると言いついていいか。求める、などの方がよいのか。
- ▲ DX化（マークシートやデジタル採点など）という表現はどうか。
- ◇ せっかく見直しをしているので、時代に合った、といったことが盛り込めるといいと思う。
- 入学者選抜業務はミスなく行うことが大切であり、子供たちの学力を適切に測るという観点は忘れてはならない。
- それでは、今、御意見いただいた修正した内容を改めて確認したい。事務局からの読み上げをお願いしたい。
- ▲ （内容の読み上げ）
- ここまで丁寧に、御協議いただいたが、最後、事務局より修正した報告書を読み上げてほしい。
- ▲ それでは読み上げる。
（報告書案 全文読み上げ）
- ◇ （賛同）
- 何か御意見はあるか。
- ◇ （特になし）
- 今後細かな文言等の修正は、事務局で入れさせていただくことについては、御承知おきいただきたい。

4 閉会

署名

委員長

守屋 淑美

署名委員

大井 裕美子

署名委員

菅崎 俊幸